

# 彩色兼備～モノ管理～ 使いこなしガイド

2019/06/24

ビーコア株式会社

# 目次

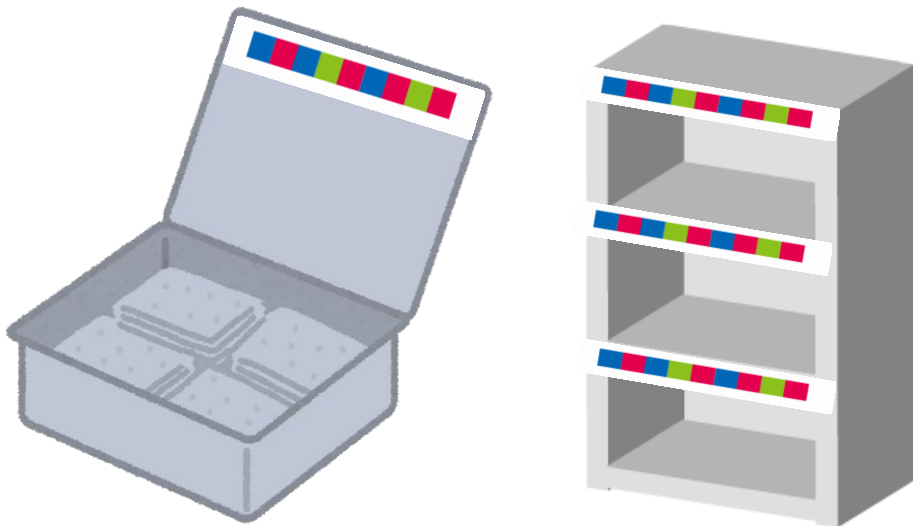
- ✓ タグの貼り付け
  1. 親タグと子タグ
  2. 向きを揃えて
  3. 綺麗に貼ろう
  4. いざ読み取りへ
  
- ✓ 読み取り
  1. 読み取り準備をしよう
  2. 一括読み取りをしよう
  3. ケーススタディ
  4. クリアボタンを使おう
  5. 送信前の最終確認

# タグの貼り付け

## 1.親タグと子タグ

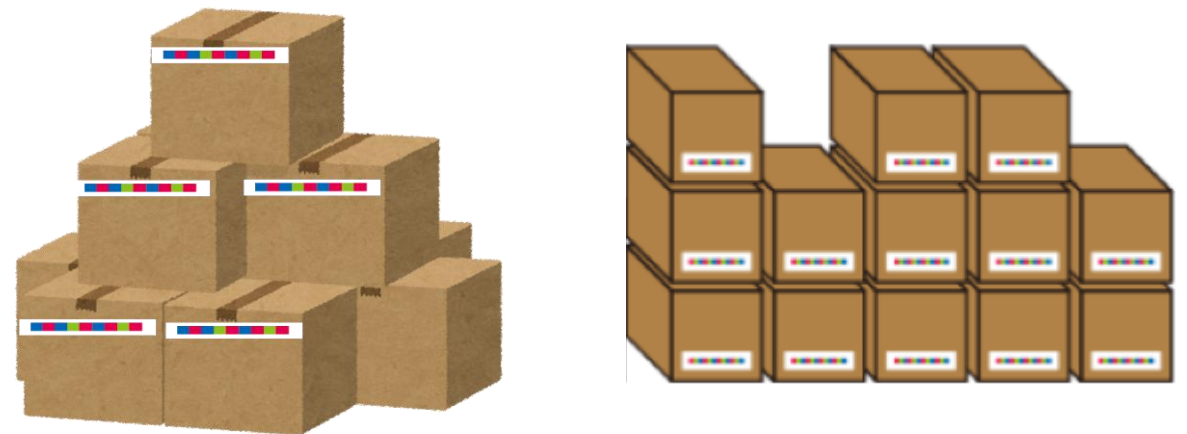
### 親タグ

【場所】に貼る



### 子タグ

【モノ】に貼る

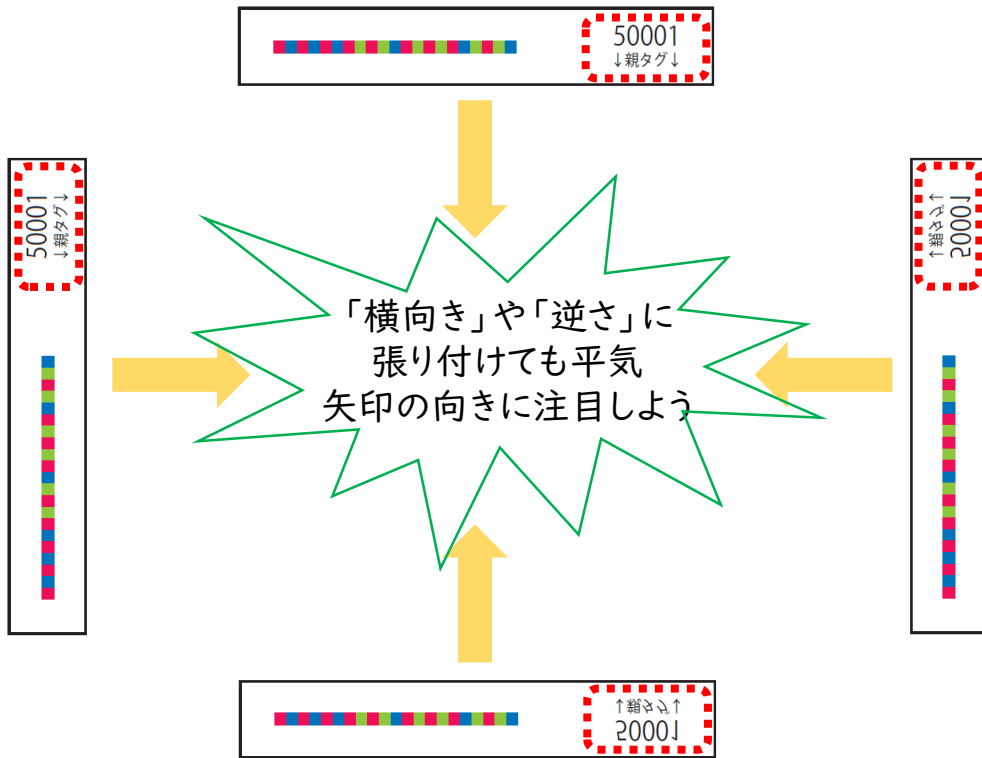


# タグの貼り付け

## 2.向きを揃えて

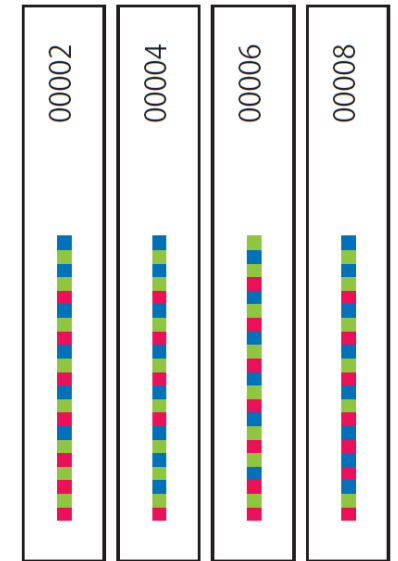
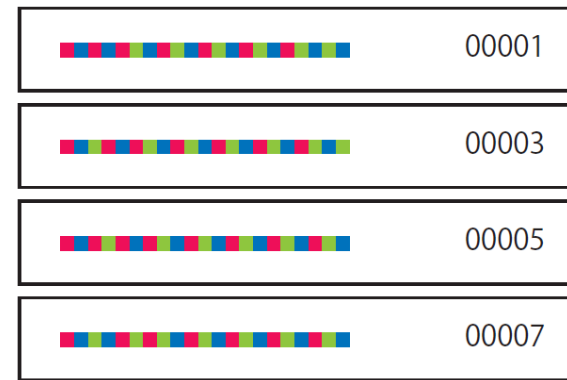
### 親タグの向き

子タグがある方向に矢印を向けて貼ろう



### 子タグの向き

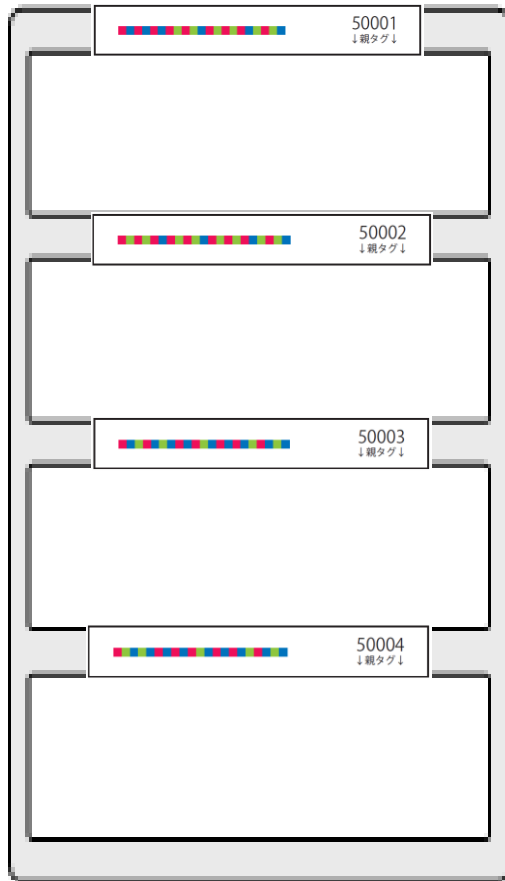
基本、子タグは方向指定無し



# タグの貼り付け

## 3.綺麗に貼ろう

### 親タグ



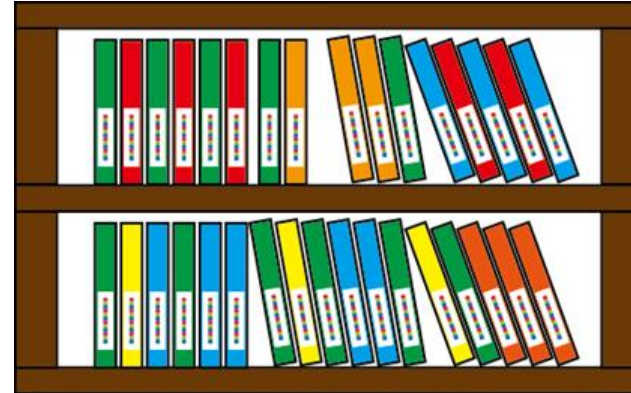
【タグの位置】

と

【矢印の向き】

これらを揃えて  
綺麗に貼りましょう

### 子タグ



【見える】ように  
【影】に隠れないように  
【揃う】ように

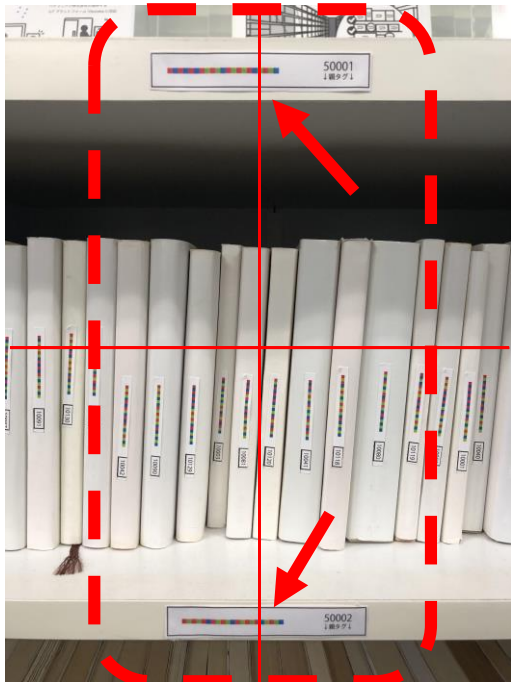
これらを守って  
綺麗に貼りましょう

# タグの貼り付け

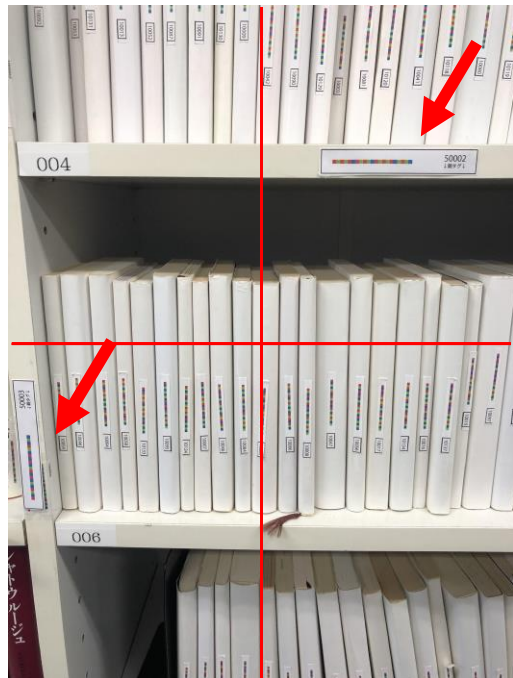
## 3. 綺麗に貼ろう

### 親タグの貼り付け

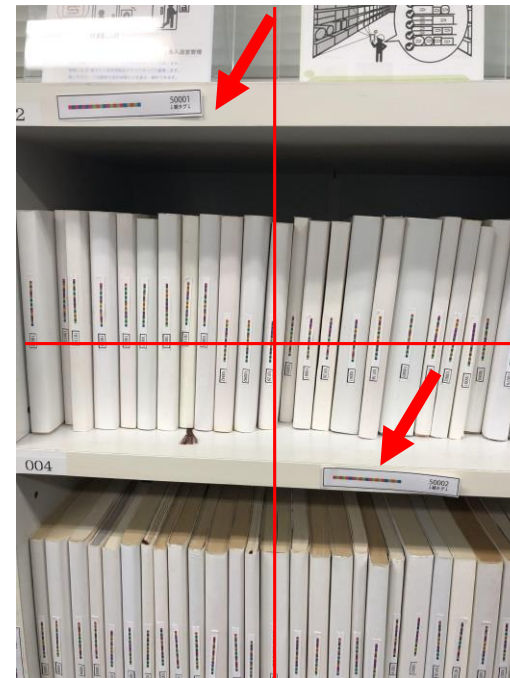
良い例) ○  
親タグを揃えて貼っている



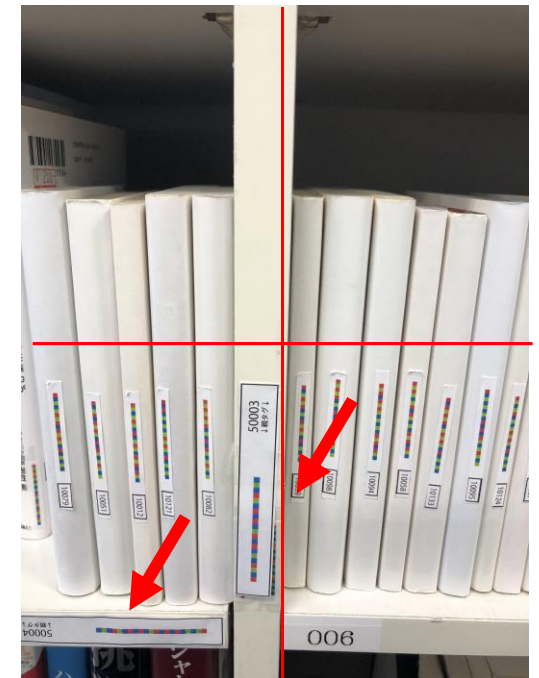
悪い例) ✕  
異なる親タグで挟んでいる



親タグが揃っていない



親タグが並んでいないかつ  
隣接する棚と競合する貼り方



# タグの貼り付け

## 3.綺麗に貼ろう

### 子タグの貼り付け

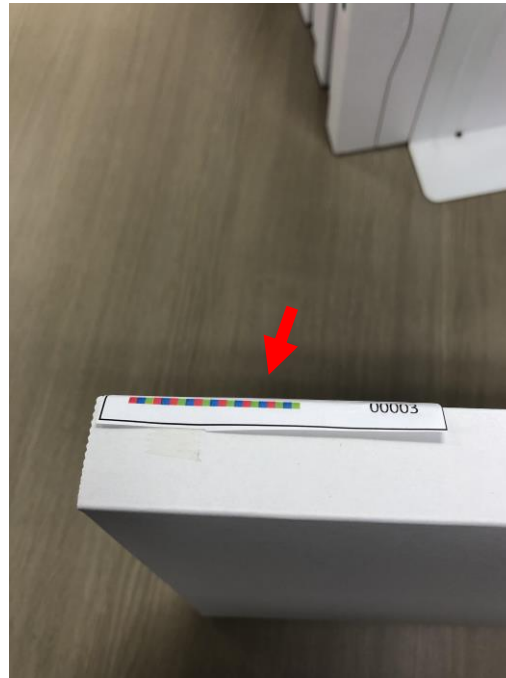
良い例) ○

子タグを揃えて貼っている



悪い例) ✕

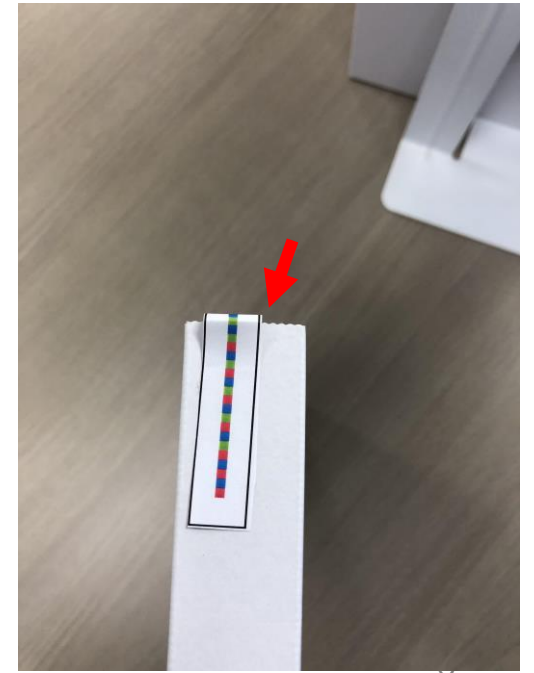
白マージンが隠れている



子タグが揃っていない



セルが欠けている



## タグの貼り付け

### 4. いざ読み取りへ

タグが貼れたらiPhoneを準備して読み取りに移りましょう



# 読み取り

## 1. 読み取り準備をしよう

- AppStoreから彩色兼備アプリをダウンロードしよう



彩色兼備 4+

B-Core Inc.

★★★★★ 5.0

無料



# 読み取り

## 1.読み取り準備をしよう

- 初期設定をしよう

### 1.アプリを立ち上げ端末IDを確認しよう(iPhone)

### 2.サーバにiPhoneを登録しよう(サーバ)

6.「back」でサーバにつなげよう

設定

SERVER

www.cb-mono.com

cbs.dev.newcgs.com

認証

固有番号 hw8x

パスワード ●●●●●

1.必ずこっちを選択  
www.cb-mono.com

2.「固有番号」を確認し、  
「端末ID」に入力しよう

5.決めたパスワードを  
iPhoneに入力しよう

ijima 端末マスタ管理

端末ID 端末名

行番 編集 端末ID ▲ 端末名

削除 新規 インポート エクスポート

端末ID hw8x 端末名

パスワード

キャンセル OK

3.好きな名前を  
付けよう

4.任意のパスワードを設定

# 読み取り

## 2.一括読み取りをしよう

記録開始ボタンを押したら

読み取りスタート

端末は動かしても平気



# 読み取り

## 2.一括読み取りをしよう

カラービットは見えていれば基本的に読み取れます(一定の明るさは必要)

しかし、**近すぎたり遠すぎたり**したら読み取れません



**近すぎ**



**適切な距離**

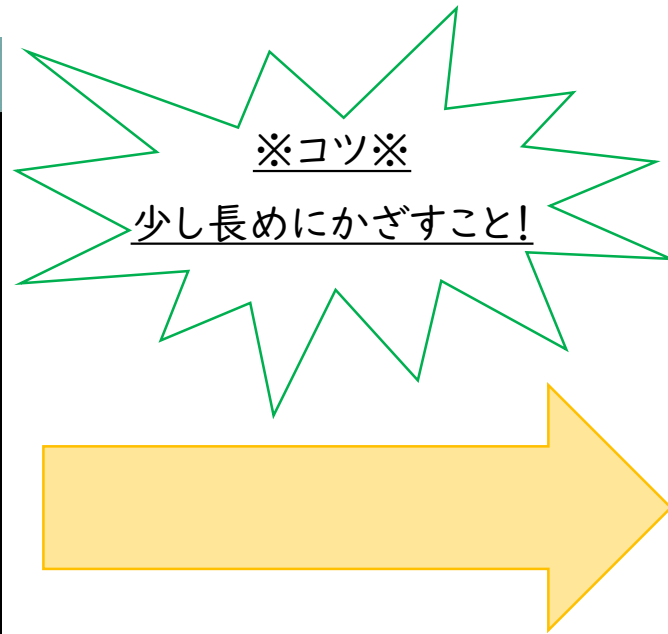
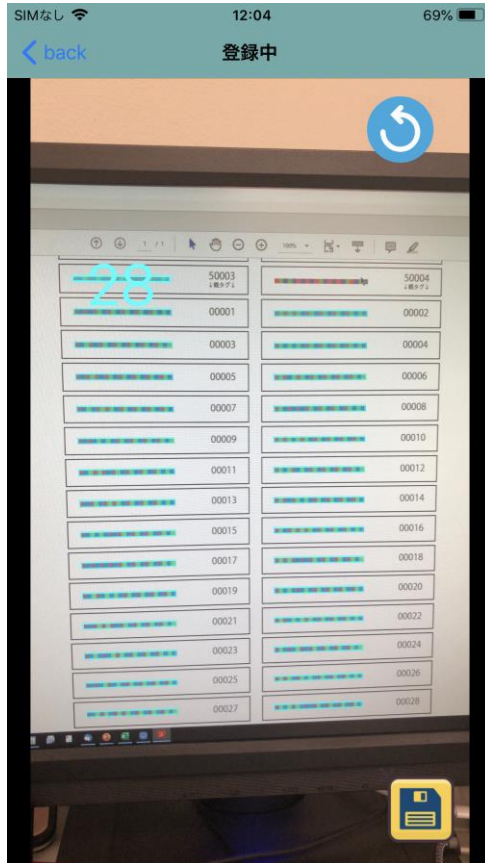


**遠すぎ**

# 読み取り

## 2.一括読み取りをしよう

読み取れない状況であっても、  
iPhoneをずらしたり傾けたり、読み取り位置を変えてみたりして登録しましょう



正しく紐づけ出来れば、  
色の割り当てにより  
目で見て判断出来ます。

# 読み取り

## 3. ケーススタディ

カラービットの読み取りに適さない状況

カラービットが見えない



見えないと読み取れません

影に隠れる



見えにくいと読み取れません

配置がバラバラ



親タグとの紐づけが狂います

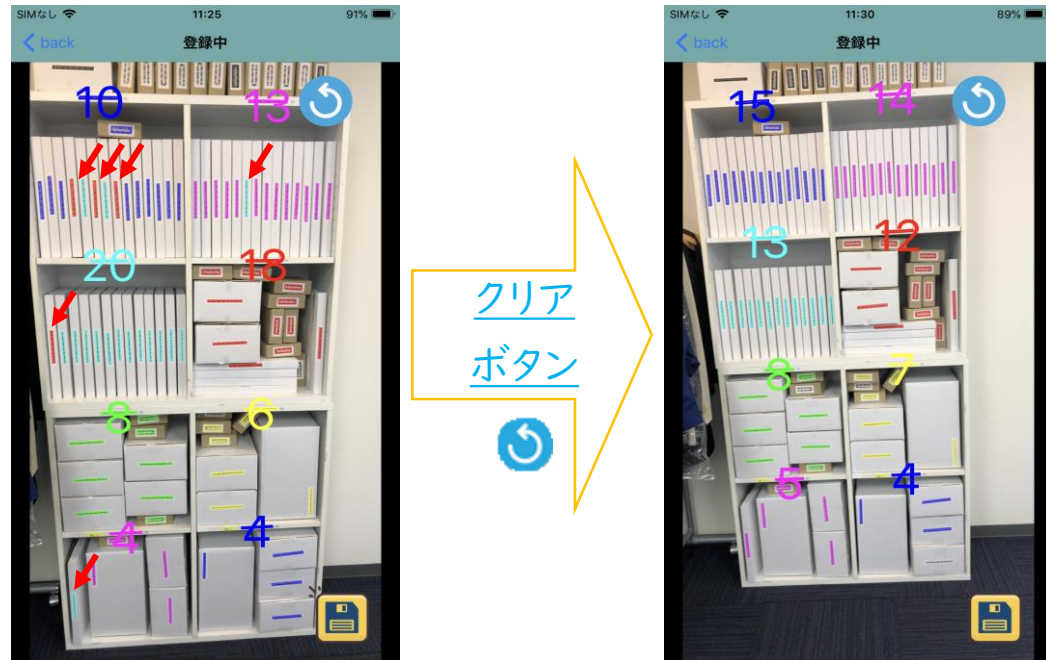
以上のことから読み取り精度が低下する上記状況下での利用は非推奨となります

# 読み取り

## 4.クリアボタンを使おう

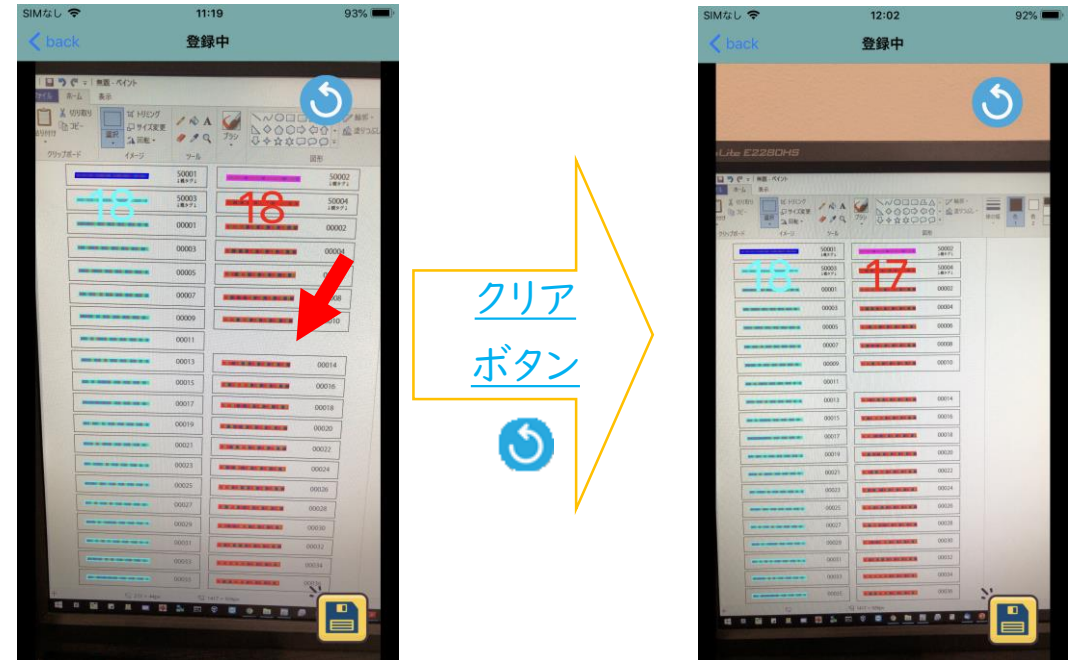
### クリアボタン必要例: タグの流し読み

一目で色の割り当てがおかしいことが分かります。  
「登録状態のまま端末を持ち歩き読み取り」などをした場合こうなります。  
こうなった場合、クリアボタンを押しましょう。



### クリアボタン必要例: タグ抜き取り

タグが抜けているのに数が変わっていないことが分かります。  
「読み取り中にタグを抜き取る」などをした場合こうなります。  
こうなった場合、クリアボタンを押しましょう。



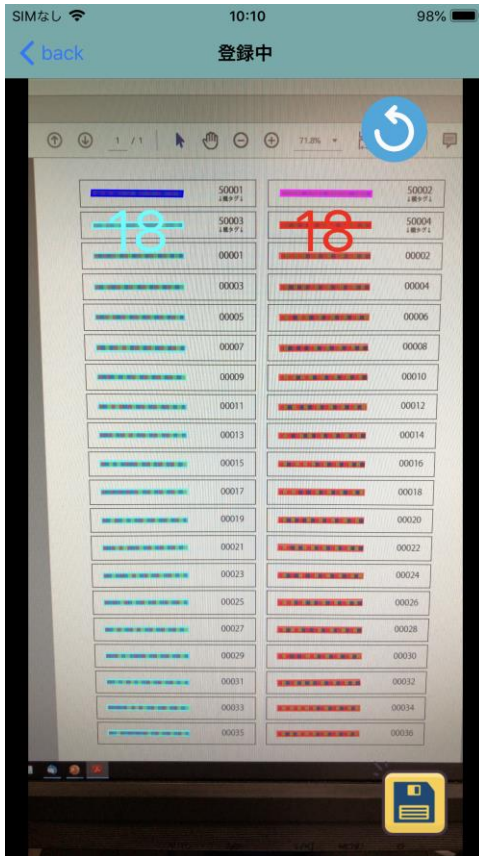
※読み取り中のタグ追加は問題ありません

「色の割り当て」や「数」が正しくされていない場合、クリアボタンを使いましょう

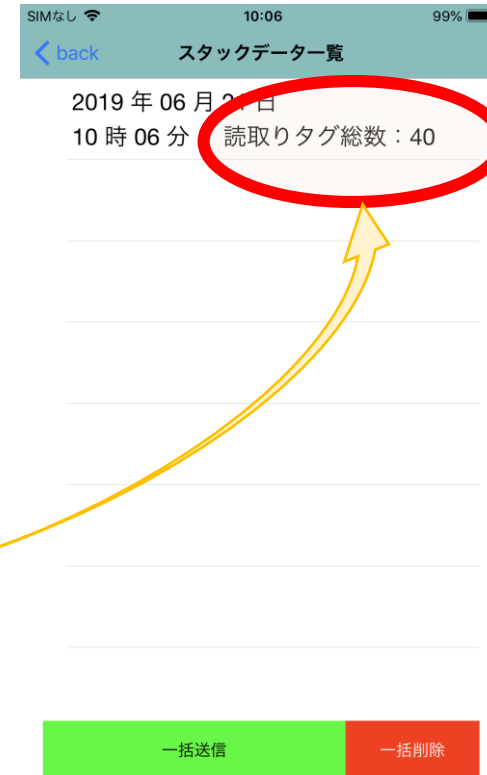
# 読み取り

## 5.送信前の最終確認

読み取りデータを送信する前に、タグ総数を確認しましょう



$$\begin{aligned}
 &18(\text{子タグ左}) + \\
 &18(\text{子タグ右}) + \\
 &2(\text{親タグ左}) + \\
 &2(\text{親タグ右}) =
 \end{aligned}$$



数が合わないときは再登録しましょう